野菜の生育状況及び価格見通し(平成26年11月)について (東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる)

(総論)

品		目		現	在	の	生	育	状	況	
根	菜	類	生育は、順調。								
	(だいこん、にんじん)										
葉	茎 菜	類	生育は、順調。								
((はくさい、キャベツ等)										
果	菜	類	生育は、概ね順調。								
	(きゅうり、なす等)										
土	物	類	生育は、概ね順調。								
(ばれいしょ、さといも、											
†	こまねぎ)										

(各論)

品	主産県 (※()書きは		今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)		
		昨年 11 月の入荷 シェア。		1 1月前半	11月後半	
だい	こ <i>ん</i>	千 葉(57%) 神奈川(15%)	・ <u>前半</u> にあっては、生育期に適度な降雨等があり、肥大が進み、 <u>出荷数</u> <u>量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ・ <u>後半</u> にあっては、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。			
にん	じん	千 葉(42%) 北海道(32%)	・北海道及び後続の秋冬産地(関東)ともに、生育が順調であり、 <u>出荷</u> 数量が平年を上回るため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。			

│は く さ い │ 茨 城 (83%)	
長 野(10%) による生育遅れの影響で出荷が後ろにずれていることに加え、生育が 順調な後続の秋冬産地(関東)と出荷時期が重なり、出荷数量が平年	
<u>を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ・ <u>後半</u> にあっては、秋冬産地のみの出荷となり、 <u>出荷数量、価格ともに</u> <u>概ね平年並</u> になる見込み。	
キャベッ 千葉(39%) ・ <u>前半</u> にあっては、出荷終盤の関東高冷地において9月の低温・少雨等	
愛知(24%) による生育遅れの影響で出荷が後ろにずれていることに加え、生育が順調な後続の秋冬産地(関東)と出荷時期が重なり、 <u>出荷数量が平年</u> ないに見るなめ、無数は平年なると思える。	
<u>を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ・ <u>後半</u> にあっては、秋冬産地のみの出荷となり、 <u>出荷数量、価格ともに</u> <u>概ね平年並</u> になる見込み。	
ほうれんそう 群 馬(47%) ・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込 茨 城(15%) み。	
ね ぎ 青 森(16%) ・生育期に適度な降雨等があり、肥大が進み、出荷数量が平年を上回る	
茨 城(13%) ため、価格は平年を下回る見込み。	
レ タ ス 茨 城(60%) ・ <u>前半</u> にあっては、秋冬産地(関東)において、生育期に適度な降雨等	
兵 庫(10%) があり、肥大が進み、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下</u> 回る見込み。	
<u> </u>	*
きゅうり埼玉(26%) ・生育は概ね順調であるものの、群馬県・埼玉県においては2月の大雪	
宮 崎(21%) による栽培用ハウスの倒壊の影響で作付が減少しており、 <u>出荷数量が</u>	→
<u>平年をやや下回る</u> が、 <u>価格は概ね平年並</u> になる見込み。	·

な	す	高 知(59%) 福 岡(16%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	
トマ	7	熊 本(35%) 千 葉(17%)	・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。	
ピーマ	ン	茨 城(46%) 宮 崎(20%)	・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。	
ばれいし	ጽ	北海道(99%)	・収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下</u> 回る見込み。	
さとい	ŧ	埼 玉(59%) 千 葉(14%)	・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。	
たまね	ぎ	北海道(90%)	・収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	